

編集後記

今回、松井先生追悼、二つの特集など暑い9月の
 熱いぶ厚い号です。遊星人史上最アツ? (幹事関口)

特集「宇宙防災：科学と工学の新たな展開」です
 が、最近プラネタリーディフェンスが急激に注目を浴
 びるようになってきたために、この特集を企画しまし
 た。天体の地球衝突というようなことは、少し前ま
 ではまさに杞憂であって、まともな科学者が扱う問
 題ではないという雰囲気でしたが、現在、地球接近
 天体の発見個数は35,000個を超え、隕石の予報も
 できるようになりました。2022年9月にはNASAの
 DARTがディモルフォスの軌道を変更する実験に成
 功し、今年の10月には、ESAのHeraが打ち上げら
 れてそこに向かいます。2029年4月13日の金曜日(!)
 には、直径340mものアポフィスが静止衛星の距離よ
 りも近いところを通過します。プラネタリーディフェ
 ンスは、杞憂から新しい科学や技術の進展に寄与する

ものに転換しつつあると言ってよいでしょう。(ゲスト
 エディター吉川真)

特集「若い惑星および周惑星円盤・衛星形成研究
 最前線」はいかがでしたでしょうか? 本特集は次号
 12月号にも継続するので、合わせてご覧頂き、惑星・
 衛星形成研究の進展を感じて頂ければ幸いです。本
 特集は2022年2月、2023年6月にオンラインで開催さ
 れた周惑星円盤・衛星形成に関する研究会がきっか
 けとなっており、研究会中の議論の盛り上がりも踏ま
 えこの分野の進展を改めて認識した野津が、研究会
 主催者の橋本氏・青山氏に話を持ちかけた事で企画
 がスタートしました。周惑星円盤の観測研究は今後
 ますます進展が期待されています。それらの研究と
 従来太陽系科学分野を中心に研究が進んできた衛
 星形成研究が交わる事で、新たな研究領域が切り開
 かれる事にも期待したいと思います。(編集委員野津)

編集委員

三浦 均 [編集長]

関口 朋彦 [編集幹事]

荒川 創太, 上根 真之, 岡崎 隆司, 小川 和律, 鎌田 俊一, 木村 勇氣, 黒澤 耕介, 小久保 英一郎,
 坂谷 尚哉, 杉山 耕一郎, 瀧 哲朗, 瀧川 晶, 田中 秀和, 谷川 享行, 長 勇一郎, 成田 憲保,
 野津 翔太, はしもと じょーじ, 濱野 景子, 本田 親寿, 諸田 智克, 山本 聡, 和田 浩二

2024年9月25日発行

日本惑星科学会誌 遊・星・人 第33巻 第3号

定 価 一部 1,925円(税込・送料込)

編集人 三浦 均(日本惑星科学会編集専門委員会委員長)

印刷所 〒224-0044 神奈川県横浜市都筑区川向町787-1 株式会社 シュービ

発行所 日本惑星科学会事務局

〒604-8206

京都市中京区新町通三条上ル町頭町112 菊三ビル2階 201号室(StartupSide Kyoto)

Tel: 075-708-5984

e-mail: staff@wakusei.jp

(連絡はできる限り電子メールをお使いいただきますようご協力お願いいたします)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は日本惑星科学会が所有しています。

複写される方へ

日本惑星科学会では、複写に係る著作権を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。
 本誌に掲載された著作物を個人的な使用の目的以外で複写したい方は、(社)学術著作権協会
 (<https://www.jaacc.org/>) が提供している複製利用許諾システムを通じて申請して下さい。
 なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、日本惑星科学会に直接ご連絡下さい。